



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

有功会ぎふ

— 発行 —
岐阜市西部中島2-9
日本赤十字社岐阜県支部内
岐阜県赤十字有功会
TEL (058) 272-3561
FAX (058) 274-6938



岐阜赤十字病院への寄付金贈呈

あいさつ

岐阜県赤十字有功会
会長 村瀬 幸雄

さて、昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に拡がり、国内外の社会・経済に今なお甚大な影響を及ぼしております。会員の皆さまにも、この一年、お仕事や日々の暮らしに、大変なご苦労を重ねてこられたことと推察申し上げます。

このような中、本会の事業も例年どおりに進めることは難しく、総会を文書審議としたり、視察研修を中止したりするなど、感染防止の徹底に努める一方、新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者への支援として、岐阜赤十字病院へ寄付金を贈呈する新たな事業に取り組んだところでございます。

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、身を挺して医療事業や災害救護をはじめ様々な活動に取り組んでおられます。

日本赤十字社の活動を支援する本会といたしましては、今後ともコロナ禍の中でどのような支援ができるかを考え、引き続き積極的に活動してまいりたいと思っております。会員皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまのますますのご活躍とさらなるご多幸を祈念申し上げ、挨拶いたします。

現在下記の義援金・救援金を受け付けております。

【国内義援金】

- 令和2年7月豪雨災害義援金
- 令和元年台風第19号災害義援金
- 平成30年7月豪雨災害義援金
- 平成29年7月5日からの大雨災害義援金
- 平成28年熊本地震災害義援金
- 東日本大震災義援金

受付期間：2020年12月28日まで
受付期間：2021年 3月31日まで
受付期間：2021年 6月30日まで
受付期間：2021年 3月31日まで
受付期間：2021年 3月31日まで
受付期間：2021年 3月31日まで

【海外救援金等】

- バングラデシュ南部避難民救援金
- 中東人道危機救援金
- 令和2年度（第38回）NHK海外たすけあい

受付期間：2021年 3月31日まで
受付期間：2021年 3月31日まで
受付期間：2020年12月 1日から12月25日

遺贈・相続財産寄付を承っております。

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」、「故人の遺産を社会に役立ててほしい」といったお申し出が増えております。日本赤十字社ではこのような尊い思いに応えるため、遺言によるご寄付や相続財産のご寄付を承っております。

日本赤十字社では、ご寄付を国内外で災害、病気、紛争などで苦しむ人びとのいのちを守る活動に広く役立ててすることができます。

詳しくは日本赤十字社岐阜県支部（組織振興課）までご連絡ください。
(☎058-272-3561)

「寄付金型自動販売機」設置のお願い！

ご協力いただける会員の皆さまを募集しています。

- 寄付金型自動販売機とは…

店頭、打ち合わせスペース、社員食堂、休憩所、工事現場などに設置いただき、売り上げの一部をご寄付いただく自動販売機です。日本赤十字社岐阜県支部では、自動販売機を通して赤十字の活動をサポートしていただける方々を募集しております。

詳しくは日本赤十字社岐阜県支部（組織振興課）までご連絡ください。





寄付金により整備された体温測定器
(岐阜赤十字病院正面玄関に設置)

コロナ禍における新たな社会貢献事業として、県内において新型コロナウイルス感染症に当初から対応し、これまで多くの患者さんの治療に当たってこられた岐阜赤十字病院へ寄付金を贈呈しました。

このたびの寄付金は、同病院のさらなる活動を支援することにより、県内の新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与したいとの思いから取り組んだものです。

9月17日、同院内で開催した贈呈式には、たいへんご多忙の中、林昌俊病院長様にご出席をいただき、本会の村瀬幸雄会長から寄付金50万円を手渡しました。

林病院長様から「対策や検査に有意義に使用したい。職員の励みにもなり、非常に感謝している」とのお礼の言葉がありました。

岐阜赤十字病院への 寄付金贈呈

令和2年度 岐阜県赤十字有功会総会

例年7月に開催しております総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は開催を取り止め、文書審議とさせていただきます。

会員皆さまにお諮りした結果、第1号議案「令和元年度事業報告（案）」並びに令和元年度歳入歳出決算（案）、第2号議案「令和2年度事業計画（案）」並びに令和2年度歳入歳出予算（案）は、それぞれ原案どおり承認されました。

今年度は、コロナ禍により例年どおりの事業を実施することは難しく、一部事業を変更して進めていくこととなりました。

●例年どおり実施する事業

- ・青少年赤十字加盟校への図書贈呈
- ・会報誌発行
- 新たに実施する事業
- ・新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者への支援

●実施方法を変更する事業

- ・総会開催
- 実施を中止する事業
- ・視察研修

また、例年参加しております「全国赤十字大会」と「日赤紺綬・有功会会長協議会総会」は、コロナ禍のため開催が中止されました。

表彰

次のとおり有功会会員が表彰されました。
こころよりお慶び申し上げます。

(敬称略・順不同)

●厚生労働大臣感謝状

小林 良子

(大垣市)

●日本赤十字社長感謝状

株式会社 市川工務店

(岐阜市)

医療法人 薫風会

(高山市)

深尾 恭三

(岐阜市)

渡辺 幸宏

(岐阜市)

野中 基彦

(瑞穂市)

●金色有功章

長澤 富志夫

(岐阜市)

新規会員

ご入会いただき誠にありがとうございます。
よろしく願っています。

(敬称略)

株式会社 野田クレーン
浅野 熱系 株式会社

(大垣市)
(安八町)

(表彰、新規会員とも)

令和2年11月30日分まで



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～

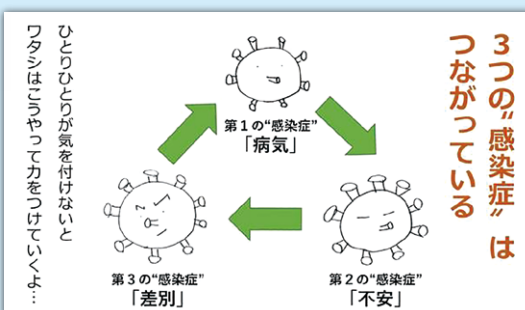
新型コロナウイルスによる感染症は、国内外で感染の拡大が続いている状況です。

この感染症は、“3つの顔”を持っており、これらが“負のスパイラル”としてつながることで、さらなる感染の拡大につながります。

日本赤十字社ではこの“負のスパイラル”を知り、断ち切るためのガイドとして「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」を作成しました。

本ガイドは日本赤十字社のホームページからご覧いただけます。

感染拡大を防ぐための一助としてぜひお役立てください。



http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html



高山市立山王小学校

子どもたちに豊かな心を育んでもらうことや、赤十字について知ってもらうことを目的に、今回で11回目となる図書の贈呈を行いました。

今回は、青少年赤十字新規加盟校77校（小学校56校、中学校16校、高等学校4校、特別支援学校1校）に贈呈しました。

2月20日、受領校を代表して高山市立山王小学校で開催した贈呈式では、会員代表の医療法人薫風会 理事長 高桑 薫様から児童に図書「ポーランド孤児を救った日本赤十字社」を手渡しました。

●贈呈図書



小学校

●学習まんが歴史で感動 「ポーランド孤児を救った日本赤十字社」

※およそ100年前、シベリアに残されたポーランド孤児を救った奇跡の救出劇。人々の「善意の心」から生まれた、知られざる日本とポーランドの歴史秘話。

●図書カード



中・高等学校・特別支援学校

●ソルフェリーノの思い出

※赤十字の創設及び国際人道法の創案の契機となったアンリー・デュナン著書の完訳本

青少年赤十字加盟校への図書贈呈